

東京混声合唱団第253回定期演奏会

Keiko Mitsuhashi × Gabriel Fauré × Takatomi Nobunaga

東混

『黒い歌』混声合唱のために

作曲:林 光

[1964年度東混委嘱作品]

かきろい こいうた

炎の孤悲歌 ~柿本人麻呂の歌に依る~

作曲:西村 朗

[1990年度東混委嘱作品]

レクイエム

—オルガンと弦楽五重奏による新編曲—

作曲:G.フォーレ 委嘱新編曲:信長貴富

[2020年度東混委嘱新編曲]

©大杉準平

©山口敦

指揮 三ツ橋敬子
ソプラノ 澤江衣里
バリトン 宮本益光
オルガン 浅井美紀
ヴァイオリン 西江辰郎
ヴィオラ 須田祥子
チェロ 長石篤志
コントラバス 西谷牧人
菅沼希望

2020年 10月24日(土) 15:00開演
(14:30開場)

東京文化会館 小ホール

《全席指定》

一般 4,500円 学生 1,500円

《お問い合わせ》

東京混声合唱団事務局

TEL. 03-3200-9755

FAX. 03-3200-9882

<http://toukon1956.com>

チケット取り扱い

▶東京コンサーツ

03-3200-9755 (平日10:00~18:00)

<http://www.tokyo-concerts.co.jp>

(HPから予約、セブンイレブンでお支払い・受け取りができます)

▶東京混声合唱団オンラインチケット

<http://toukon.tstar.jp/>

▶東京文化会館チケットサービス

03-5685-0650 (休館日を除く10:00~18:00)

<https://www.t-bunka.jp/tickets/>

委嘱新編曲 信長貴富
(東京混声合唱団レジデントアーティスト)

[主催] 一般財団法人合唱音楽振興会

[助成] 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

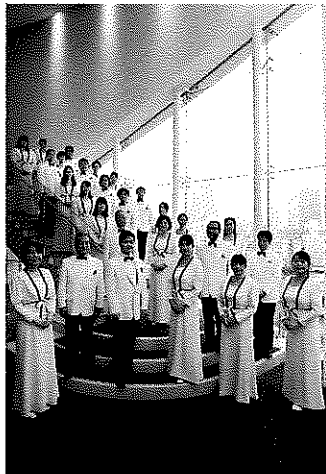
[協賛] サントリーホールディングス株式会社



文化庁

東京混声合唱団

The Philharmonic Chorus of Tokyo



1956年に創設された日本を代表するプロ合唱団。現在桂冠指揮者を務める田中信昭によって創設された。東京、大阪での定期演奏会、内外のオーケストラとの共演やオペラへの出演、青少年を対象とした鑑賞音楽教室、海外公演を含む年間150回の公演のほか、数多くのレコーディングやテレビ、ラジオへの出演がある。レパートリーは、創立以来行っている作曲委嘱活動で生まれた200曲を超える作品群をはじめ、内外の古典から現代作品まで幅広く、各地の合唱団との合同演奏、指導者派遣等も精力的に行っている。文化庁芸術祭大賞、音楽之友社賞、毎日芸術賞、京都音楽賞、レコード・アカデミー賞、サントリー音楽賞、中島健蔵音楽賞などを受賞。



©大杉平平

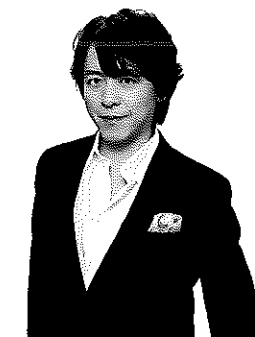
三ツ橋敬子 MITSUHASHI Keiko (指揮)

東京藝術大学及び同大学院を修了。ウィーン国立音楽大学とキジアーナ音楽院に留学。第10回アントニオ・パドロッティ国際指揮者コンクールにて日本人として初めて優勝。第9回アルトゥーロ・トスカニーニ国際指揮者コンクールにて女性初の受賞者として準優勝。併せて聴衆賞も獲得。第12回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。2009年にはNewsweek Japan誌にて「世界が尊敬する日本人100人」に選出。2011年には、TBS系列ドキュメンタリー番組「情熱大陸」に取り上げられた。2016年から神奈川県立音楽堂にて「三ツ橋敬子の新★夏休みオーケストラ」がスタート。子供たちへ多彩な音楽体験を届ける企画内容が好評を得ている。



澤江衣里 SAWAE Eri (ソプラノ)

東京藝術大学大学院修士課程及び博士課程修了。英国歌曲研究により博士号取得。《口短調ミサ曲》、《ドイツ・レイクエム》、《カルミナ・ブラーナ》や《メサイア》など多数の作品でソプラノソロを務める。しなやかで温かみのある歌声を生かした歌唱で様々なレパートリーを持つ。NHKテレビ番組「名曲アルバム」でのバッハのアリアの演奏や、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」に出演、好評を得た。東京藝術大学附属音楽高等学校非常勤講師。



宮本益光 MIYAMOTO Masumitsu (バリトン)

東京藝術大学卒業、同大学院博士課程修了。学術(音楽)博士号取得。03年『欲望という名の電車』スタンリーで一躍注目を集め、以降二期会『ドン・ジョヴァンニ』(宮本亜門演出)タイトルロール、新国立劇場『鹿鳴館』清原栄之輔、日生劇場『メデア』イヤソン、神奈川県民ホール『魔笛』パパゲーノ等話題の公演で活躍。『金閣寺』溝口役では、神奈川県民ホール及び二期会にて主演。感性に満ちた歌唱で高い評価を得た。コンサートにおいても全国各地の主要オーケストラと共演を重ね指揮者からの信頼も厚い。MOZART SINGERS JAPANを主宰。本年11月東京二期会『メリー・ウィドウ』ダニロで出演予定。二期会会員。

信長貴富 NOBUNAGA Takatomi (編曲)

1994年上智大学文学部教育学科卒業。1994・95・99年朝日作曲賞(合唱曲)、1998年奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第1位、2000年現音作曲新人賞入選(室内楽曲)、2001年日本音楽コンクール作曲部門(室内楽曲)第2位などを受賞。多数の合唱曲のほかに、歌曲、器楽曲など多岐にわたる。「信長貴富歌曲集」「こどものためのピアノ曲集 スタートダッシュ」ほか出版多数。主な作品に「子どもたちの遺言〜童声合唱と管弦楽のためのオラトリオ〜」、「エレジアコ・エレキテル」(室内楽曲)、「Fragments〜特攻隊戦死者の手記による〜」(歌曲・合唱曲)、「奏楽〜混声合唱と吹奏楽のための〜」、「マリノバ協奏曲 混線するドルフィン・ソナー」などがある。

浅井美紀 ASAI Miki (オルガン)

東京藝術大学音楽学部卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。安宅賞、アカンサス音楽賞受賞。横浜みなとみらいホール・オルガニスト・インターンシップ修了。オルガニストを池田泉、廣野嗣雄、早島万紀子、三浦はつみ、通奏低音を今井奈緒子、廣野嗣雄、チェンバロを故小島芳子の各氏に師事。これまでに東京藝術大学助手、青山学院高等部講師を務めたほか全国各地において演奏会を行っている。現在、青山学院高等部オルガニスト、水戸芸術館「幼児のためのパイプオルガン見学会」オルガニスト、日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員。

西江辰郎 NISHIE Tatsuo (ヴァイオリン)

新日本フィルハーモニー交響楽団及び、久石譲:Music Futureコンサートマスター。幼少期より辰巳昭子氏に師事し、桐朋学園ソリストデュプロマコース修了。スイスに留学しティボール・ヴァルガ氏に師事。メソッドを継承する。室内楽を安永徹、市野あゆみ各氏に師事。2001年、仙台フィルのコンサートマスターに抜擢され当時より最年少コンサートマスターとして活躍。05年より新日本フィルコンサートマスターに就任し、ソリストとしても国内外のオーケストラと共演。マレーシア・フィルやNHK交響楽団にゲスト・コンサートマスターとして招かれている。ライブCDも多数リリースしておりいずれも高い評価を得ている。

須田祥子 SUDA Sachiko (ヴァイオリン)

桐朋学園大学を首席で卒業。第23回ヴィットリオ・グイ国際コンクールを始め多数のコンクールで第1位優勝。「報道ステーション」での生中継、テレビ朝日「題名のない音楽会」やNHK「ららクラシック」、NHKFM「今日は一日ピオラ三昧」のピオラ特集でもそれぞれソロ演奏をフィーチャーされた。現在、東京フィルハーモニー交響楽団首席奏者、日本センチュリー交響楽団首席客演奏者、洗足学園音楽大学非常勤講師を務める他、ピオラ演奏集団「SDA48」を主宰。アクロス弦楽合奏団、ザ・シンフォニエッタみよしメンバー。CD「ピオラは歌う」シリーズ、「びおらさんまい」をリリース。

長石篤志 NAGAISHI Atsushi (ヴァイオリン)

大分県出身。4歳よりヴァイオリンを始める。第24回及び第27回大分県音楽コンクールで第1位を受賞。福岡教育大学芸術コース卒業、同大学院卒業。フィレンツェへの留学を機にヴァイオリンへ転向。フィエゾレ音楽院にてアントネッロ・ファルツリに師事する。帰国後は東京に拠点を移し、東京フィル・群馬交響楽団・仙台フィル・日本センチュリー響・浜松フィル等オーケストラのゲスト首席として出演。また幅広いジャンルのレコーディング、「FNS歌謡祭」「MUSIC FAIR」「題名のない音楽会」等に度々出演。日本クラシック音楽コンクール全国大会審査員。

西谷牧人 NISHIYA Makito (チェロ)

奈良県出身。東京藝術大学、同大学院、米國インディアナ大学を修了。河野文昭、菊地知也、堤剛、ヤノシュ・シュタルケルの各氏に師事。兵庫芸術文化センター管弦楽団の創設メンバーを経て、2008〜2019年まで東京交響楽団首席チェロ奏者を務める傍ら、東京藝術大学非常勤講師として後進の指導にもあたる。2013年度青山音楽賞受賞。2015年自作自演弦楽ユニット「清水西谷」を結成。オーケストラを退団後は、パッハからジャズ、タンゴ、ポップス、自作自演までジャンルを超えた演奏活動を展開している。

菅沼希望 SUGANUMA Nozomi (コントラバス)

千葉県柏市出身。14歳よりコントラバスを始める。村上満志、山谷明恵両氏に手ほどきを受ける。東京藝術大学を卒業、同大学院をアカンサス音楽賞を受賞し修了。大学在学中に新日本フィルハーモニー交響楽団のオーディションに合格し入団。大学院在学中に文化庁新進芸術家海外研修制度研修生として渡独し、フランクフルト音楽・舞台芸術大学にて学ぶ。これまでに池松宏、クリストフ・シュミット、永島義男、西山真二、村上満志、山谷明恵、吉田秀の各氏に師事。新日本フィルハーモニー交響楽団首席コントラバス奏者。

